

## 事業計画書

事業名	CoderDojo 三島沼津開催
実施場所	国立沼津工業高等専門学校
実施予定期間	平成30年4月～平成31年3月17日

## ◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p><b>【事前準備】(※参考)</b></p> <p>2018年1月・2月 事業開始準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせ</li> <li>・ホームページ立ち上げ(業者へ依頼)</li> <li>・スポンサー探し/メンター(スタッフ)募集</li> </ul> <p><b>【日程】</b></p> <p>2018年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ、ホームページ、SNSなどで参加者募集</li> </ul> <p>2018年5月20日(日) 第1回 CoderDojo 三島沼津開催</p> <p>2018年7月15日(日) 第2回 CoderDojo 三島沼津開催</p> <p>2018年9月16日(日) 第3回 CoderDojo 三島沼津開催</p> <p>2018年11月18日(日) 第4回 CoderDojo 三島沼津開催</p> <p>2019年1月20日(日) 第5回 CoderDojo 三島沼津開催</p> <p>2019年3月17日(日) 第6回 CoderDojo 三島沼津開催</p> <p>※定員親子10～15組程度 / 毎回募集予定</p> <p><b>【実施項目・作業項目】</b></p> <p>子どもプログラミングへの取り組みは地域によって、バラツキがある。千葉県柏市では、2017年度より市内にある42校すべての公立小学校において、プログラミングの授業を開始しているが、静岡県東部ではまだまだプログラミングが子供たちに浸透しているとはいえない。</p> <p>CoderDojoの活動を開始することで、これからは必要不可欠となっていくプログラミングに親しんでもらう機会を提供していく。</p> <p>ゆくゆくは、少年サッカーや、少年野球クラブのように、地域の大人(主にITエンジニア)が地域の子どもたちをサポートする場所にしてきたい。</p> <p>※現段階のメンバーでサポートできる技術は、子どもプログラミングツールの「スクラッチ」や「ビズケット」、Microsoft社のプログラミング言語「VB.NET」、「C#.NET」などであるが、メンターとして参加する技術者が増えれば、サポート対応の範囲を広げていく予定である。</p>

## ◎事業効果

※事業の効果を記載して下さい。

ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。

CoderDojo の特色は「忍者（参加者）が作り出したいものをサポートする」であり、大人は過度に干渉しないで、子どもたちが試行錯誤し、学びあい、自分たちで解決するのを手助けする。また、作った作品を発表する（自慢する）時間を設ける。それにより以下の効果が期待される。

- ・子供たちが楽しみながらプログラミング技術を身につける。
- ・文科系の子どもたちに自信を与える。
- ・自主性を養う。
- ・プレゼン能力を養う。

また、2020年の小学校での必修化にむけプログラミング教育の指導者不足が心配されているが、地域のIT技術者や、会場である沼津高専の学生や地元大学生がメンターとして参加することによって、指導者養成の効果も期待される。

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

<p>公益性</p>	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。 チラシや、SNS、ホームページで参加者を募集することによって、地元の子どもたちに平等に、プログラミングを学ぶ機会を提供できる。</p>
<p>発展性</p>	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 地元企業社員のメンター参加を広く募集することにより、地元企業＋沼津高専職員（1名は施設管理責任者として参加予定）＋学生の交流の場となりえる。双方にメリットがあるため、本事業の協力企業が増えることが予想される。また、CoderDojoとして活動することにより、参加者は多くの恩恵（CoderDojo Japanの国内外のパートナーからの支援）が受けられる。例えば、優秀な人材であれば「一般社団法人未踏（経済産業省所管の独立行政法人情報処理推進機構の事業：21世紀型のイノベーションの創出を担う創造的人材の活躍を推進するための組織である。）」から、「留学」や「著名な経営者のサポート」など世界にむけて成長するチャンスを与えられる。都会に集中しがちな「優秀な人材を青天井に成長させ得る環境」が整い、IT企業が多く存在する沼津市の発展に寄与することが可能となる。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。 沼津には、富士通、明電舎、リコーなどの企業があり、技術者が多く存在している。地域全体としての技術力は相当なポテンシャルがあり、企業と連携し、CoderDojoを運営していくことにより、若い世代（メンターを含めて）の技術力のさらなる発展が見込まれる。</p>
<p>必要性</p>	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。 2020年のプログラミングの義務教育化をうけて、沼津市にもプログラミング教室がいくつか設立されてきたが、いずれも高額（月額1万円以上）であり、誰でも学べる環境ではない。CoderDojo憲章の基に、誰でも平等にプログラミングを学べる機会の提供は必要とされる事業である。</p>

<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。  CoderDojo は、世界では 75 カ国・1,500 の道場、日本では全国に 115 以上の道場が存在する。日本の道場は主に都会に集中しており、東京都 18、千葉県 14、大阪 15 に対し、静岡県は浜松の 1 つであった。地域間格差の是正の意味でも、本事業で静岡県東部に開設する意義がある。</p>
<p>継続性</p>	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。  初年度は、ホームページの立ち上げなどで費用がかさむが、次年度からは静岡東部で CoderDojo の認知度が上がり、本道場（CoderDojo 三島沼津）の活動実績を広報することで、地元企業のスポンサー契約が増えることを想定している。</p>

**◎特に高い公益性を有することの説明**

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。